育てたい　子ども像

人として大切な心と21世紀の社会を生き抜く力を持ち
ふるさと“ぶぜん”　を愛する子ども

○自分の命、他の人の命を大切にする子ども

○21世紀の社会を生き抜く、確かな力を持つ子ども

○ふるさと“ぶぜん”を知り、大切にする子ども

チャレンジ！ぶぜんっ子7か条！

☆友達やまわりの人のよさを見つけます！

☆笑顔で「おはよう」　素直に「ありがとう」と
「ごめんなさい」を言います！

☆なりたい自分に向かって、
あきらめないでチャレンジします！

☆「なぜ」「どうして」を大事に、進んで調べたり考えたり
します！

☆ふるさと“ぶぜん”の特色や
よさを見つけて大切にします！

☆みんなのまち“ぶぜん”のために、今できることを
がんばります！

☆ぼく・わたしの目標は、

1ねん【　　】
2年　【　　】
3年　【　　】
4年　【　　】
です！

もくじ（小学校1年生～4年生）

★チャレンジ！ぶぜんっ子7か条

★家庭学習Q＆A…… 2

●家庭学習って、なあに？
●どうして家で勉強をしないといけないの？
●家での勉強は何からどのくらいすればよいの？
●家での勉強は、計画してやった方がよいの？

★家庭学習のポイント…… 6

国語／社会／算数／生活・理科

★保護者の方へ…… 19

★ぶぜんっ子を育てる大人7か条

★資料編（もっと、もっとチャレンジ）

Q　家庭学習って、なあに？

A　家庭学習というのは、自分の力を伸ばしたりつけたりするために家庭でおこなう勉強のことです。宿題や自分に必要な学習内容を考えて行う家庭学習です。

★ここがポイント！

★宿題・・学校からだされる、必ずしなければいけない勉強

★自主学習・・自分で考えておこなう勉強

①復習・・今日、学校でならったことを、教科書やノートを見ながら、もう一度やってみる勉強

②予習・・明日ならう勉強を、教科書を見て、文を読んだり問題をといたりする勉強

③その他・・苦手な勉強や興味のある勉強

今日の宿題は、漢字練習1ページと計算ドリルが1ページ。

自主学習は、今日の復習と明日の予習をしよう！

復習や予習をするときには、教科書のQRコードを読み取って見てみよう。

Q　どうして家で勉強しないといけないの？

A 学校で1回 勉強するだけではしっかり覚えられません。家でもう一度やってみることで、しっかりと覚えることができるからです。また、次の日の勉強をすると、学校でもっと知りたいという意欲がわきます。

★ここがポイント！

★家で勉強すると・・勉強したことがよくわかるようになります。

●漢字や計算のようにくり返し練習することでできるようになり、勉強したことがよくわかるようになります。

★家で勉強すると・・勉強することが楽しくなります。

●自分で勉強すると「できた。わかった。自分でやってみよう、もっと知りたい。学校でくわしく知りたい。」というやる気がどんどんでてきて勉強することが楽しくなります。

★家で勉強すると・・勉強することがあたり前になります。

●自分で勉強をつづけると、進んで取り組もうとする気持ちがでてきて、家で勉強することがあたり前になります。

お家での勉強で大事なことは、ダラダラと長い時間をかけるより、集中して取り組むことだよ。

Q家での勉強は何からどのくらいすればよいの？

A　まずは、宿題をしましょう。
次に、自主学習をしましょう。時間のめやすは、
学年×10分くらいがいいでしょう。

★ここがポイント！

★家に帰ったら、できるだけ早めに勉強をしましょう。

①かばんから、すべての教科書とノートを出しましょう。

②れんらくちょうを見て、宿題を先にしましょう。

③今日、学校で学習したところをノートを見ながら思い出しましょう。

④自分で決めた自主学習をしましょう。

⑤時間わりを見ながら、明日の準備をしましょう。ふでばこの中も見てね。

★自主学習は、「復習」と「予習」、学校で興味をもったことなどを調べる「調べ学習」をするといいです。

例えば‥

・ことわざ調べ　・〇〇虫の上手な飼い方　・おいしい〇〇の作り方

・紹介したい豊前市の名所ベスト10　・〇〇を発明した人　・豊前市のじまん

自主学習の時間の目安は‥学年×10分くらい！

1年生⇒10分～20分　2年生⇒20分～30分
3年生⇒30分～40分　4年生⇒40分～50分

Q　家での勉強は計画してやった方がよいの？

A　計画を立ててやるのが一番！自分でめあてを決めて、自分の力でやりとげる力をつけることができるからです。「これをやりたい！」というものが決まり「今ならできる！」という時にどんどん勉強しよう。

★ここがポイント！

★家に帰ったら・・家庭学習の「計画」を立てよう。

☆決めること☆
①いつ
②どのくらいの時間
③何をするのか

わたしは、
①夕ごはんの前に
②30分
③宿題と意味調べを毎日3語ずつやってみよう。

★計画を立てたら「計画表」をつくってみよう。

①いつ②どのくらい③何をするかを書きました。

計画どおりできたら、色をぬるようにしました。

○○の計画表（6月1日～6月7日 ）

①夕ごはんの前
②30分
③宿題と（意味調べを3語ずつ）

6月	しゅくだい	意味調べ
1		
2		
3		
4		
5		

★どれだけ家庭学習をしたか、自分の「がんばり」を記録に残そう。

家庭学習をふりかえろう

月 日	時 間	1週間のふりかえり
7月1日 ～ 7月7日	7時～7時40分	意味調べとリコーダーのれんしゅうをした。

7月は、一つ自主学習を増やしました。色をぬった分だけ勉強したことがわかってうれしいです。

こくご 1･2年

❶ 声に出して読もう！（音読）

●いま べん強しているところを 何回 読むかきめて、声に出して読みましょう。

●すらすら 読めるように れんしゅうしましょう。

●れんしゅうしたら、おうちの人にきいてもらいましょう。

●読んだら、音読カードに読んだしるしを つけましょう。

「かん字を正しく」「気もちをこめて」「聞いている人にいみがわかるよう」に読もうね。

❷ 文字やかん字のれんしゅうをしよう！

●ひらがな･カタカナ･かん字を ひつじゅんに 気をつけて れんしゅうしましょう。

○しりとりをしながら、 書いてみると おもしろいですよ。

あり → りんご → ごま → ま？

○かん字には 読みがなも つけようね！

●ならった ことばや文で れんしゅうしましょう。

❸ 文をノートに書きうつしましょう！（ししゃ）

●すきな本や きょうか書の文を、 ノートに書きうつしましょう。

●「、」や「。」や 「一字下げ」に 気をつけて、ていねいに書きうつしましょう。

④ 作文や日記を書こう！

●楽しかったことを　作文や(絵)日記に　書きましょう。

○かん字や　カタカナを　すすんでつかいましょう。

○だれが何をした、どう思ったかを　書きましょう。

○思ったことや　気づいたことを　書きましょう。

○お家の人や　先生などに教えたいことを　文に書きましょう。

○「」を　正しく　使って　書きましょう。

⑤ 読書をしよう！

●絵本など　いろいろな　しゅるいの本を　読みましょう。

●読みおわったら、読書きろくに　書きましょう。

むかし話の本や　かがくの本、図かんがおすすめだよ。

やってみよう！「これは、なんでしょうゲーム」

①もんだいに　するものをきめて、ノートに、形や大きさなどを　かきましょう。

②かいたことを　つかって　もんだいを　作ります。

③がよう紙に　絵と　もんだいを　かいて、友だちと　あてっこを　しましょう。

いつもはほそいです。つかうときには、大きくひろげます。あめのひにつかいます。

これはなんでしょう。

国　語　3･4年

❶ 声に出して読もう！（音読）

- 今、勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声に出して読みましょう。
- すらすら読めるように練習しましょう。
- 練習したら、おうちの人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードなどに読んだしるしをつけましょう。

☆音読カード☆

読んだ日	内容	回数	大きさ	はっきりと	すらすらと	忘れ物チェック	家の人のサイン	先生のサイン
／								
／								
／								
／								

声の大きさ・速さ・間のとり方・気もちや様子が伝わるように読もうね。

❷ 漢字の練習や意味調べなどをしよう！

- お手本を見て、「とめ」「はね」「はらい」に注意して正しく書きましょう。
- 学習したローマ字を使って、いろいろな言葉をていねいに書きましょう。
- 国語辞典で意味のわからない言葉や反対の意味の言葉を調べてみましょう。
- 漢字辞典を使って、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。

同じ部首の漢字集め

さんずい　泳 湖 港 消 洋

ローマ字

kya　kyu　kyo

okāsan　kippu

honya　Buzen

反対の意味の言葉

明るい ⟷ 暗い

高い ⟷ 低い

③ 視写をしよう！

●教科書の文や詩、お話などを、ノートにていねいに書き写しましょう。

●文や言葉をかたまりごとに見て、一気に書き写しましょう。

④ 作文や日記を書こう！

●その日にあったこと、考えたこと、調べたことなどについて書きましょう。

●いつ、だれが、だれと何をした、その時、どう思ったかを書きましょう。

●組み立てを考えて、「つなぎ言葉」を使って書きましょう。

●題名をつけて、習った漢字を使って書きましょう。

⑤ 読書をしよう！

●いろいろな種類の本を読みましょう。

●読み終わったら、読書記録に書きましょう。

物語や詩の本、歴史や科学の本、スポーツの本がおすすめ！

やってみよう！「ローマ字入力をしよう！」

●学習したローマ字を使って、タブレットに言葉を入力してみよう。教科書の好きな文を打って、変換してみよう。

かるた遊びをしよう！『京築かるた』もおもしろいよ。

社 会 3･4年

❶ たんていになってまちの様子を調べよう！

○ みんなの役に立つ施設や建物をたんけん！

○スーパーなどのお店・郵便局 ・ 役所などのみんなのための施設
○田や畑・工場や港・駅やバス停などの交通の様子

●見つけた施設の名前とはたらきを
ノートにメモしましょう。

●どこに何があるかわかるように絵地図
などにまとめましょう。

●見つけた施設の中をたんけんして、
わかったことをノートなどにまとめ
ましょう。

豊前市役所

豊前市立図書館

○ みんなの役に立つ仕事をしている人たちを ウォッチング！

○地域の見守り隊 ○警察官 ○消防士 ○お店で働く人 ･･･etc

●様子を見て、ノートにメモしましょう。

●仕事についてインタビューをして、わかったことをノートにまとめ
ましょう。

●自分で調べたこととあわせて、仕事の工夫をノートにまとめま
しょう。

○ 地図帳を活用して日本中、世界中をたんけん！

●テレビなどで出てきた地名を、さくいんを活用して見つけましょう。

●その土地の様子を、地図記号や産物マークなどで調べてまとめましょう。

●主な道路や線路をたどって、主な都市や、土地の様子、交通の様子を調べてまとめましょう。

❷ 自分が興味をもっていることを調べて、好きな方法でまとめよう！

○スーパーのチラシ
売りあげをのばす工夫
→店をくらべる
野菜や果物の産地→地図に表す

○地図記号集め

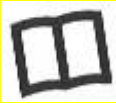
○地域の祭り

○昔の道具

地図記号

小・中学校
漢字の「文」の形

神社
鳥いの形



図書館
開いた本の形

地域の祭り

みなと祭り

カラス
てんぐ祭り

ゆず祭り

昔の道具

ブラウンかんの
テレビ

せんたく板

さんすう　1・2年

❶「計算」ができるようになろう！

●数が　数えられるようになったら、大きな声で　数えてみましょう。

●計算カードや　かけ算九九、　ドリルなど何ども　くりかえし　れんしゅうしましょう。まちがえたもんだいは、　できるまで　やりなおしましょう。

●たし算や　ひき算、　かけ算の　お話(もんだい)を　つくりましょう。

計算カードをつかって、友だちと問題を出しあうと楽しいですよ。

友だちやお家の人に　しきを言ってもらい、そのしきになるもんだいをつくってみましょう。

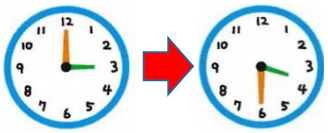
❷「時間」や「大きさくらべ」になれよう！

●時けいをみて、　時こくをよんだり、　計算したりして、時こくや時間になれましょう。友だちと　れんしゅうしても　楽しいですよ。

●自分の　もっている　いろいろなものの長さを　よそうしてから、　ものさしで　はかってみましょう。

時こくと時間

1時間＝60分



3時から3時30分の時間は？

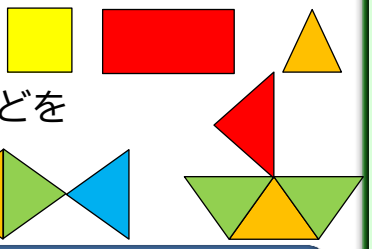
長さ

なれてくると、ものさしで　はからなくても　だいたいの長さがわかるようになるよ。

もの	よそう	けっか
けしゴム	6cm	4cm5mm
えんぴつ	15cm3mm	16cm2mm
きょうかしょ	26cm	25cm7mm

③「いろいろなかたち」をつくってみよう！

●みのまわりから 学校で ならった形を、 たくさん みつけて みましょう。 かたちを 組み合わせて いろいろな 形を つくると 楽しいですよ。



●三角形・四角形、 正方形・長方形や 直角三角形などを 自分でかいたり、 しきつめたりしましょう。

三角形を 何まいならべて できた形かな？ 数えてみよう！

④「絵や図」・「表やグラフ」をかいてみよう！

●しきを かんがえるときは、 ブロックや 絵、 図をつかって あらわすと わかりやすいので ためして みましょう。

●みのまわりに あるものを 表やグラフに あらわすと 大きさが くらべやすく、 ちがいもわかるので 自分で かけるように れんしゅうしましょう。

バナナ	りんご	すいか
3	2	4

		○
○		○
○	○	○
○	○	○
バナナ	りんご	すいか

やってみよう！「計算 名人になろう！」

●計算カードをつかって、 はやく・せいかくに できるように まいにち れんしゅうしましょう！

5＋9	13＋9
9－4	14－8

算　数　3・4年

❶「計算」ができるようになろう！

●かけ算やわり算、小数、分数などの計算を毎日練習しましょう。また、和・差・積・商、以上・以下・未満、四捨五入、真分数・仮分数・帯分数などの用語と意味を覚えましょう。

四捨五入

100の位までのがい数
3456→10の位の5を切り上げて→ 3500

●(　)を使った計算や＋－×÷の計算の順序を正しく計算できるようにくり返し練習しましょう。

どちらが正しい順序で計算できていますか？

計算のきまり

①30＋10÷5＝ 8
②30＋10÷5＝32

分数

$\frac{3}{4}$　$\frac{7}{4}$

❷「時間・時刻」や「重さ・面積」になれよう！

●時間や時刻がすばやく求められるようにくり返し練習しましょう。

●正方形や長方形の形をした身の回りのもの(ノートやつくえなど)を見つけ、自分なりの予想をしてから面積を求めてみましょう。

時間は、3時から4時までのように時刻と時刻の間を表すものだよ。

身の回りのいろいろなものの重さを予想してから、はかってみよう。

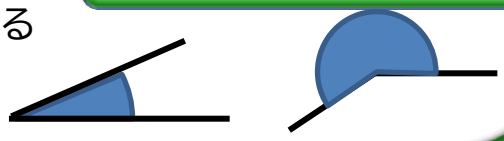
面積

長方形の面積＝たて×横

正方形の面積＝1辺×1辺

●分度器を使って角の大きさをはかったり、必要な大きさの角を作ったりできるように練習しましょう。

角とその大きさ

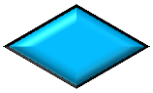


❸「いろいろな形」を調べたり、作ったりしてみよう！

●身の回りから形をたくさん見つけてみましょう。方がんノートを使って、形を組み合わせていろいろな形を作り、色をぬるととてもきれいです。

●二等辺三角形・正三角形・円・平行四辺形・ひし形・立方体・直方体などをじょうぎやコンパスを使ってかいてみましょう。

平行四辺形



ひし形

直方体

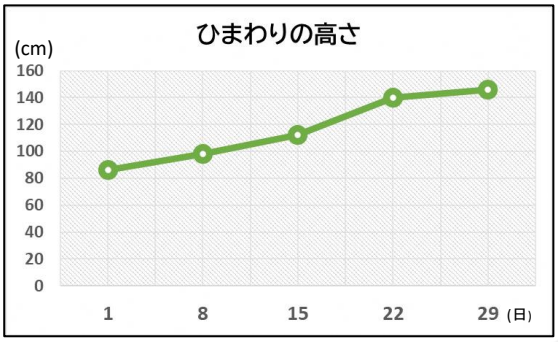
❹「表やグラフ」で表してみよう！

●身の回りから表やグラフで表せるものを見つけて、表やグラフに表したり、大小関係や変化の様子を読み取ったりしてみましょう。

折れ線グラフにすると変化の様子がよくわかりますね。

ひまわりの高さ

日にち（日）	1	8	15	22	29
高さ（cm）	86	98	112	140	146



やってみよう！「身近な生活の中から、算数をさがそう！」

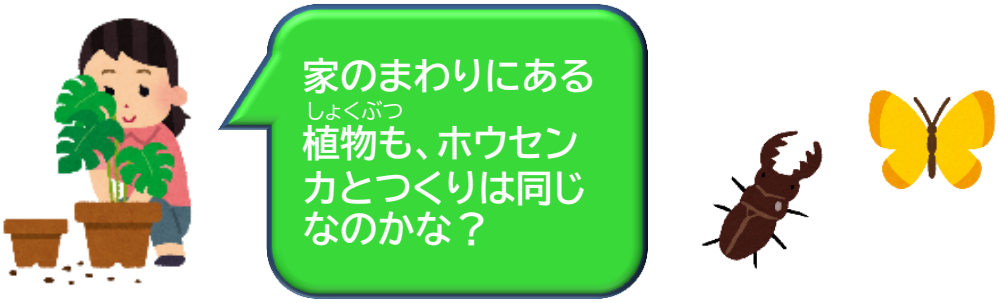
●身の回りから、100g、500g、1kgくらいのものを見つけてみよう。

●新聞紙などで面積が1㎡の大きさになる正方形を作って、身の回りから1㎡に近い広さを見つけてみよう。100㎠、200㎠などいろいろな面積を見つけたり、ノートや机の面積を求めてみたりしましょう。

理　科　3･4年

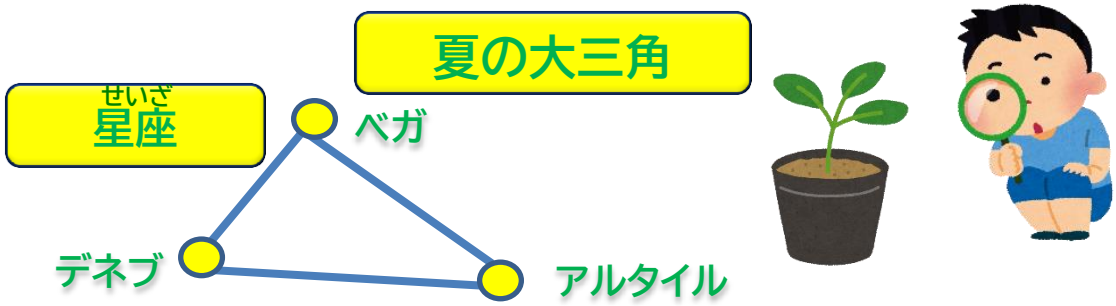
❶ 学校で勉強したことを家でもたしかめてみよう！

●理科の学習では、「なぜ」「どうして」と自分の問題をもって、かんさつしたり、調べたりすることが大切です。学校で勉強した植物のつくりは、家のまわりにある植物でも同じなのか「根・くき・葉」を調べたり、こん虫の成長はみな同じなのか育てたりしてたしかめてみましょう。



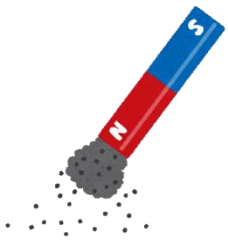
❷ 続けてかんさつしよう！

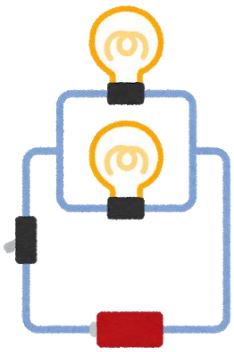
●1年春・夏・秋・冬を通して、植物をかんさつしたり、星のかんさつをしたりしてかんさつ記録をつけましょう。かんさつ記録をつけるときは、天気や気温など大切なことやその時に自分が　考えたことも記録するようにしましょう。そうすることで、理科の力がついてきます。



③ 学習したことをまとめよう！

●理科で学習した3年生「風とゴムの力」「じしゃく」「電気のかいろ」「太陽と地面の様子」、4年生「空気・水・金ぞく」「水じょう気」「へい列つなぎ」「月と星」などの理科の言葉を自分でノートにかいて説明してみましょう。教科書やノートを見て、実験などを思い出しながらかいてみましょう。





直列つなぎとへい列つなぎのちがいを説明できるよ。
豆でんきゅうが明るい方は・・・

やってみよう！
「わたしの家のまわりの生き物マップを作ろう！」

●家の庭や近くの公園には、どんな生き物がいるのかな？

●図かんで名前をしらべましょう。

●見つけた植物やこん虫の絵をかきましょう。

●身の回りにどんな生き物がいるか調べて、オリジナルマップを作りましょう。

生き物がいる場所と生き物のようすは、関係あるのかな。

せいかつ　1・2年

❶ お家でのしごとにチャレンジしよう！

●はじめは　お家の人と　いっしょにやってみましょう。

●なれてきたら、　自分一人で　ちょうせん　してみましょう。

●お家の人と　いっしょに　すごす楽しさや　自分のできることを　見つけていくことができると思います。

❷ 本物の生き物にふれてみよう！

●お家でも　学校で　学習したことを　生かして、　生き物を　そだててみましょう。

●休みの日には、　山や川、　動物園・水族館などに　出かけてみるのもよいですね。

❸ 身の回りの材料でおもちゃをつくってみよう！

●つくったおもちゃで　友だちと　遊んでみましょう。　糸電話　けん玉　など

❹ 町たんけんにでかけよう！

●自分のまちのじまん(人、自然、公園、建物)などを　絵にかいてみましょう。

○交番の□□さん　○市民センターの□□さん　○□□公園の花だん

❺ 絵日記や日記に表そう！

●①～④をやってみて、楽しかったことやうれしかったこと、おどろいたことを絵や日記で表してみましょう。

保護者の方へ

ハンドブックの趣旨説明

本書は、子どもたち一人一人に確かな学力を着実に身につけさせるために、どのように家庭学習に取り組んだらよいか、また、何をしたらよいのか、子どもたちにもわかりやすく説明した解説書です。

★ここがポイント！

学力を定着させるために、家庭の学習環境を整えましょう。

基礎学力を定着させ、「学力」を育てるためには、学校での授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。学校では子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身に付けさせます。家庭では子どもたちの基本的な生活習慣を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に取り組ませることが大切です。

- 学習をする時はテレビを消して、学習をする場の整理整頓をし、集中できる環境を整えましょう。
- 毎日の生活習慣を見直し、学習をする場所や時間、テレビを見る時間やゲームをする時間などを決めましょう。

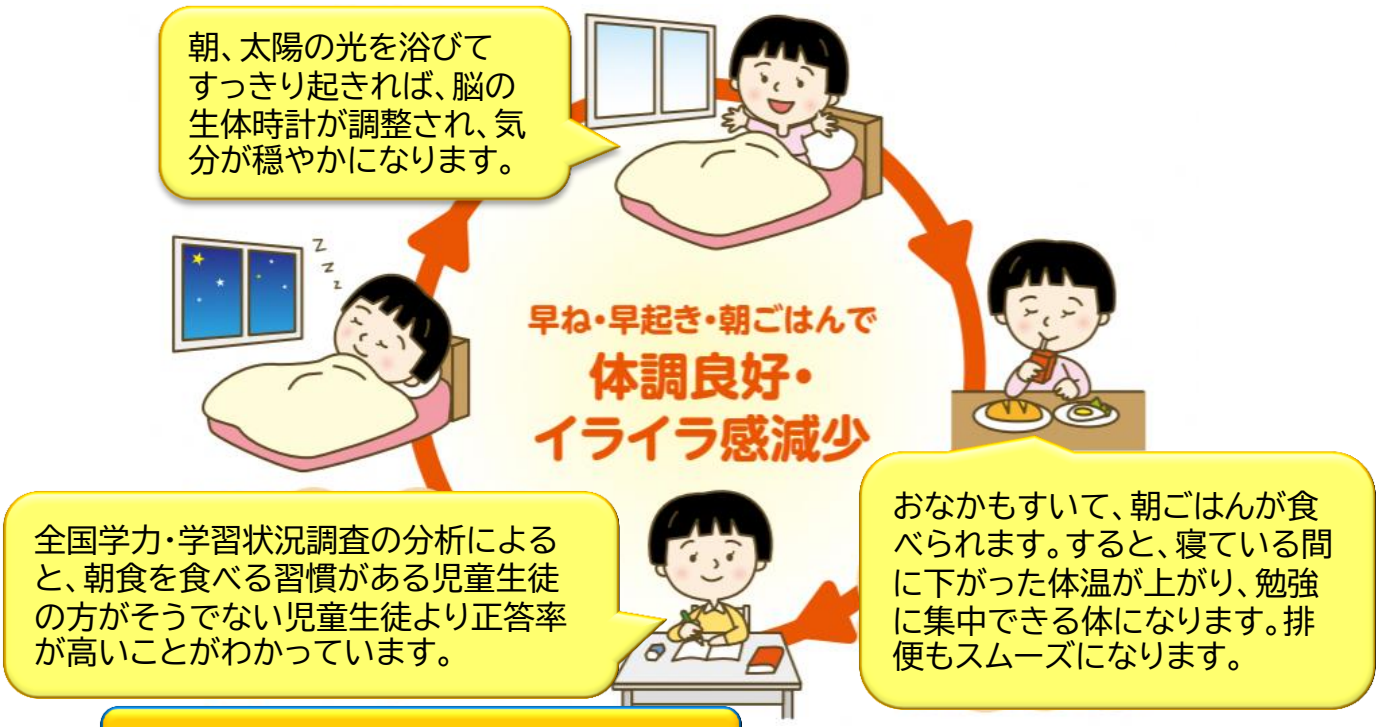
子どもの家庭学習を見守り、励ましましょう。

「自ら学ぶ子どもたち」を育てるために、子どもたちが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日継続して学習に取り組むことはとても重要なことです。

- 低学年では宿題などをやりきらせるなど基本的な学習習慣を身に付けさせましょう。
- 中学年では与えられる勉強だけでなく、授業の復習や予習、自主学習などの習慣を身に付けさせましょう。

家庭でしっかり子どもの家庭学習を見守り、
励ましてください。

子どもの学習を支えるポイント



★ここがポイント！

テレビやゲーム、ケータイのルールを作りましょう！

ゲームなどをしすぎると、ゲーム脳（物事にキレやすく、時間感覚が欠落し、物忘れが激しくなるなどの症状）になる危険性が高まります。そこで、「夜10時になったら、ケータイの電源を切る」、「テレビやゲームは1日1時間以内」などルール作りが必要になります。ルールを作ったら親子で守りましょう。大切なのは「ルールを守る力」をつけることです。

子どもの自発性を見守り、認めましょう！

子どもの心と体の健やかな成長のためには、規則正しい生活習慣が大切です。生活習慣の乱れは学習意欲、体力、気力の低下の要因です。家族全員で生活を見直し、子ども自身の「自分のことは自分でする」という自発性を育てましょう。子どもがやり始めた時は機を逃さずに認め、「頑張ってるね。」の言葉で、自発的な行動をほめてあげることがコツです。

育てたい　子ども像

人として大切な心と21世紀の社会を生き抜く力を持ち
ふるさと“ぶぜん”　を愛する子ども

○自分の命、他の人の命を大切にする子ども

○21世紀の社会を生き抜く、確かな力を持つ子ども

○ふるさと“ぶぜん”を知り、大切にする子ども

ぶぜんっ子を育てる大人7か条！

☆子育ては、「誉めよう、叱ろう、見守ろう、抱きしめよう」
子育ては、愛情をたっぷり注ぎましょう。時には厳しさも必要です。

☆声かけ合おう「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」
大人から気持ちのよいあいさつ、素直な気持ちを伝えましょう。

☆いつもあたたかく見守ろう　チャレンジ精神
子どもは、認められた喜びや自信が次への意欲となります。

☆大切にしよう　「なぜ」「どうして」のつぶやき
子どもの学ぼうとする意欲を応援しましょう。

☆伝えよう　ふるさと“ぶぜん”の特色やよさ
ふるさと“ぶぜん”の誇りを次の世代に伝えましょう。

☆声かけよう　地域の宝　子どもたち
子どもは地域の中で育つもの。遠慮せず、みんなで声かけをしましょう。

☆語り合おう　子どもと目標と夢を
「夢をもつ」「実現しようとがんばる」ことは、次への一歩です。

もっと、もっとチャレンジ！！

豊前市教育委員会

ぶぜん9年ナビへGO！

★家庭学習のポイント(小1～中3)
★自主学習のおすすめコーナー
★タブレットなどを使うルールについて
★おすすめのノート(小1～中3)
★自分の住む豊前市について知ろう

★お家での一人学習に便利なサイトの紹介コーナーです。QRコードを読み取ってみましょう。

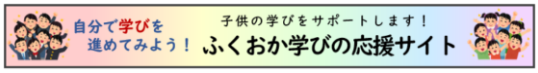
文部科学省

★学校の教科を学ぶ
★わくわくサイエンス
★子どもの学び応援リンク

福岡県教育委員会

★学習サポート情報
★家庭学習サポート
★生活場面で役立つ資料

福岡県教育センター



★学びのサポート資料
★学習支援サイト

			名前
1ねん	くみ	ばん	
2年	くみ	ばん	
3年	組	番	
4年	組	番	